

平成18年3月23日  
筑波大学

## 学群改組計画の正式決定について

筑波大学では、学群改組を法人化後の最重要課題の一つとして位置づけ、今期中期計画にその実施を掲げて、全学的体制のもとで検討を進めてきましたが、この度、平成18年3月23日に設置報告書を文部科学省へ提出しましたので、お知らせします。

(本件は、昨年7月21日に公表いたしました改組案が、上記設置報告書の提出をもって正式に決定したことをお知らせするものです。)

### 1. 改組の実施時期

平成19年4月改組、同時に学生受入

(平成18年度以前の入学者は、引き続き現行の学群・学類に在籍)

### 2. 新たな学群・学類の編制(別紙参照)

- (1) 第一学群、第二学群、第三学群及び図書館情報専門学群を、人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群及び情報学群に改組
- (2) 医学専門学群は、現行の2学類を3学類とするとともに、学群名称を医学群に改称
- (3) 体育専門学群及び芸術専門学群は、名称・編制ともに現行を維持
- (4) 上記により、現在の7学群15学類を、9学群23学類に改組

### 3. 学群改組の目的と特色

- (1) 本学の学群・学類による教育システムは、既存の学問分野を超えた自由度の大きい教育サービスの提供等を通じ、学生の幅広い興味・関心に応えるとともに、確かな専門性と広い視野、柔軟な思考力を持った人材の育成に重要な役割を果たしてきました。

この度の学群改組は、このような本学の教育システムの特徴を活かし、学問の進展や社会的要請の変化を踏まえた上で、教育内容の一層の充実を図るとともに、受験生や社会にとってわかり易い編制としたものです。

改組後の学群は、学問分野的に近い学類の集まりとして構成され、学問分野の名称を冠しつつも、文理融合を含む広範な学問分野をカバーしており、学際性と専門性の両方に配慮した編制となっています。

(2) 学問的に近い学類が一つの学群を構成することによって、各学群において学類間の共通科目やコア的な科目を設定するなど、教育内容がさらに豊かなものとなっており、学類間の連携や学類を超えた相互履修などもさらに促進されるしくみとなっています。

また、従来どおり学群間の垣根も低くし、学群の枠を超えた履修や、入学後の学生の志望の変化による所属学群・学類の変更についても、適切な指導のもと、柔軟な対応を可能としています。

(3) 平成14年に筑波大学と図書館情報大学との統合により設置した図書館情報専門学群と、第三学群情報学類を一つの学群に編制し、「情報学群」とします。それぞれが培ってきた学問的成果や伝統を継承し発展させるとともに、それらの融合により、進展著しいネットワーク情報社会を支えるコンテンツと情報メディアに着目した「情報メディア創成学類」を新設するなど、文理融合型の特色ある情報系の学群としてさらなる発展を目指しています。

#### 4. 今後の予定

##### (1) 春の進学説明会

日 程：平成18年3月27日（月）～3月30日（木）  
場 所：筑波大学東京キャンパス（文京区大塚）  
主 催：理工系学群・学類

##### (2) 大学説明会

日 程：平成18年7月26日（水）～7月28日（金）  
場 所：筑波大学筑波キャンパス  
主 催：全学群・学類

##### (3) 入学試験日程

事 項	試験の種類	推薦入学	個別学力検査等	
	アドミッションセンター入試 第1期		前期日程	後期日程
募集要項発表時期	6月下旬	9月下旬	9月下旬	
願書受付	9月11日（月）	11月1日（水）	1月29日（月）	
	9月13日（水）	11月7日（火）	2月6日（火）	
入学試験日	10月10日（火）	11月28日（火）	2月25日（日）	3月12日（月）
	10月20日（金）	11月29日（水）	2月26日（月）	

問い合わせ先：筑波大学総務・企画部広報課

電話 029-853-2040

FAX 029-853-2014

## 新たな学群・学類の編制

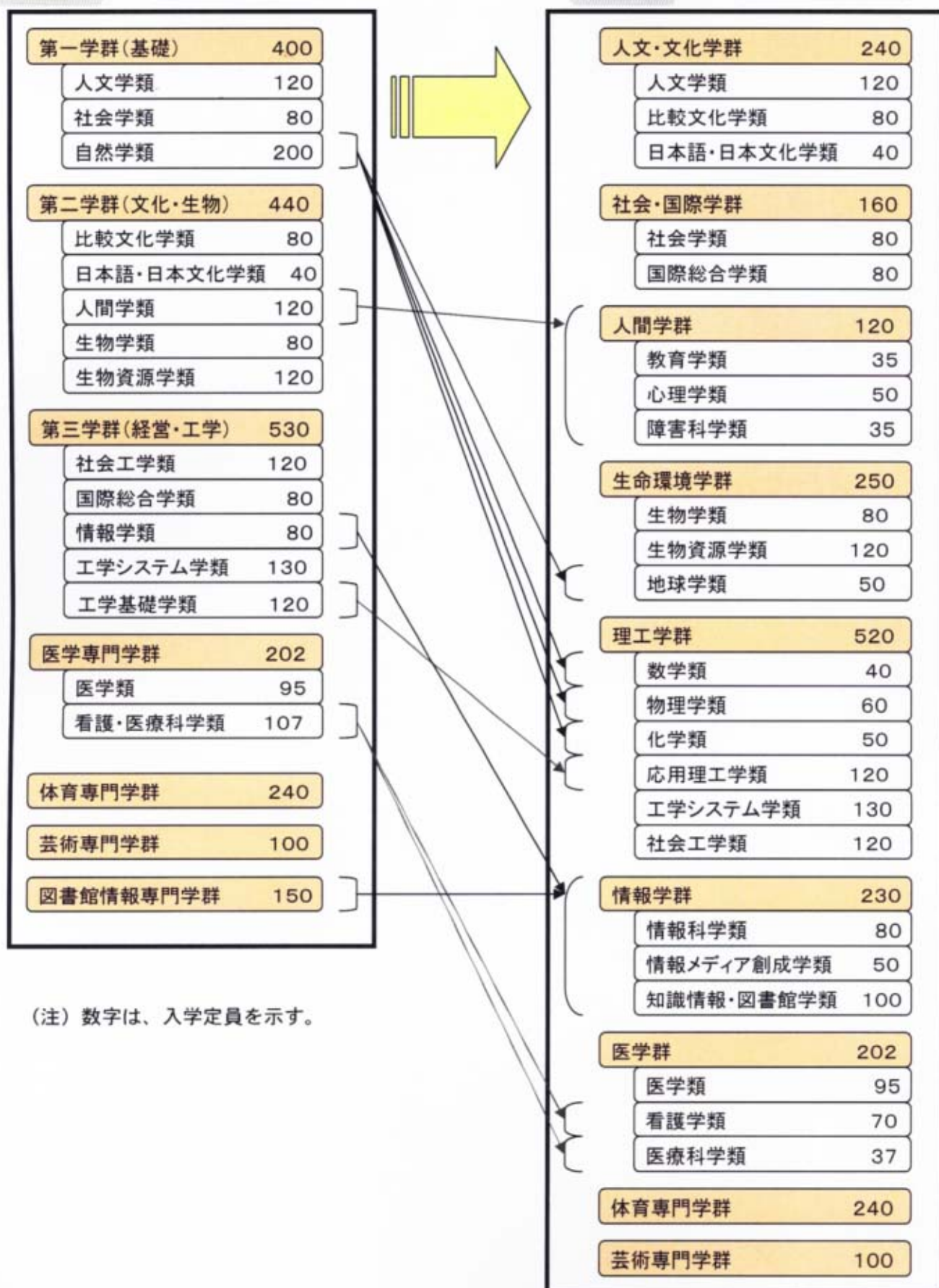
2007年4月設置・学生受入

現行

計 2,062

改組後

計 2,062



(注) 数字は、入学定員を示す。

筑波大学では、平成19年4月から学群・学類を改組します。

従いまして、平成19年度入学試験は改組後の組織ごとに下記のとおり募集します。

### 平成19年度入学試験募集人員

学群・学類名		入学定員	募 集 人 員				推薦入学
			個別学力検査等		アドミッションセンター 入試		
			前期日程	後期日程	第Ⅰ期	第Ⅱ期	
人文・文化学群	人文学類	120名	70名	17名	5名	—	28名
	比較文化学類	80	50	5	5	—	20
	日本語・日本文化学類	40	23	5	2	—	10
	小計	240	143	27	12	—	58
社会・国際学群	社会学類	80	54	10	—	—	16
	国際総合学類	80	36	16	4	—	24
	小計	160	90	26	4	—	40
人間学群	教育学類	35	25	—	3	—	7
	心理学類	50	38	—	—	—	12
	障害科学類	35	20	—	—	—	15
	小計	120	83	—	3	—	34
生命環境学群	生物学類	80	44	18	3	—	15
	生物資源学類	120	63	20	4	—	33
	地球学類	50	35	—	3	—	12
	小計	250	142	38	10	—	60
理工学群	数学類	40	30	—	若干名	—	10
	物理学類	60	45	—	若干名	—	15
	化学類	50	35	—	若干名	—	15
	応用理工学類	120	80	20	4	—	16
	工学システム学類	130	80	20	10	若干名	20
	社会工学類	120	70	25	5	—	20
	小計	520	340	65	19	若干名	96
情報学群	情報科学類	80	48	12	8	—	12
	情報メディア創成学類	50	30	8	4	—	8
	知識情報・図書館学類	100	60	15	5	—	20
	小計	230	138	35	17	—	40
医学群	医学類	95	60	—	—	—	35
	看護学類	70	50	—	—	—	20
	医療科学類	37	25	—	—	—	12
	小計	202	135	—	—	—	67
体育専門学群		240	148	—	8	—	84
芸術専門学群		100	60	—	5	—	35
合計		2,062	1,279	191	78	若干名	514



# 2007.4.

## 学群・学類の改組

学際性と専門性を調和した

新たな

学群・学類編制へ



# 筑波大学は、2007年4月 学群・学類を新たにします

筑波大学は、創設以来、従来の制度にとらわれない新しい構想に基づく大学として、数々の先導的な試みを実施してきました。学部にかわる教育組織である「学群・学類」もその一つです。

学群・学類は、学生の幅広い興味・関心に応えることのできる柔軟で自由度の大きい教育システムを特色としており、確かな専門性と広い視野、柔軟な思考力を持った人材を育成していく上で重要な役割を担っています。

本学では、このような特色をさらに発展させ、教育内容の一層の充実を図るために、学群・学類の編制を新たにします。

学際性と専門性の両方に配慮した編制と柔軟な教育システムのもとで、高度化・多様化する人材育成のニーズに的確に対応し、学生の皆さんの志望や適性に即した教育を展開することにより、大学教育に対する社会の期待に応えていきたいと考えています。

本学の位置する筑波研究学園都市は、世界でも有数の知の集積地であり、つくばエクスプレスにより都心と最短45分で結ばれています。首都圏に位置しながら、豊かな自然環境に恵まれた美しく広大なキャンパスでともに学びましょう。



## 各学群のコンセプト

### 人文・文化学群

人文系と文化系の学問の豊かな知見と確かな成果を基に、グローバル化する世界も視野に入れながら、優れたコミュニケーション能力を持ち、先見性・創造性・独創性に富み、国際的にも活躍できる卓越した人材の育成を目指します。

### 生命環境学群

人間を含む多様な生物の生命現象、それを支える地球環境、さらには生物資源の保全や持続的活用に関する総合的探求を通して、豊かな人間性と問題発見・解決能力を養い、国際的視野に立って活躍できる未来創造型の人材の育成を目指します。

### 医学群

全人的医療を行える良医の育成、広く人類の幸福に貢献し得る看護学関連の人材の育成、医療の向上と発展に貢献する研究者及び高度専門医療職を志向する人材の育成を目標とするとともに、医療のユニフィケーションの実現を目指します。

### 社会・国際学群

グローバル化や情報化の進展等により生み出される現代社会の諸現象を広い視野から分析して問題のありかを的確に把握し、先見性・独自性に富む解決策を提示できる力を養い、社会の持続的発展を支える人材の育成を目指します。

### 理工学群

持続可能な社会に必要とされる幅広い教養、論理的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る確かな専門性を身につけ、広い視野と豊かな人間性をもって知的創造、問題発見・解決の能力を発揮できる人材の育成を目指します。

### 体育専門学群

体育・スポーツ・健康に関する最新の科学的研究成果を活かしながら、優れた運動技能と幅広い運動経験を持ち、かつ保健体育に関する総合的な知識を備えた、指導力と活力に富む人間性豊かな指導者の育成を目指します。

### 人間学群

人間、社会、自然に関する幅広い興味と関心を基盤としつつ、人間の発達や支援に関して科学的に分析・理解する態度と専門的な知識や技能を身につけ、これらを活用して実際的な問題を主体的・創造的に解決する能力の育成を目指します。

### 情報学群

知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動に関わる様々な情報技術とともに、それによって支えられる人間の知的活動とその社会的・文化的基盤を十分に学び、将来をリードすることのできる人材の育成を目指します。

### 芸術専門学群

総合大学の中に位置づけられた芸術教育の場としての特色を活かし、豊かな感性と知性に支えられた発想力と、柔軟で視野の広い思考力を育てながら、高い創造的能力を備えた美術・デザインの専門家の育成を目指します。

# 新たな学群・学類の編制

学群・学類名	入学定員	主専攻分野	学位名
人文・文化学群	人文学類	120 哲学 史学 考古学・民俗学 言語学	学士(人文学)
	比較文化学類	80 文学 地域 思想	学士(文学) 学士(比較文化)
	日本語・日本文化学類	40 日本語・日本文化学	学士(文学)
社会・国際学群	社会学類	80 社会学 法学 政治学 経済学	学士(社会学) 学士(法学) 学士(政治学) 学士(経済学)
	国際総合学類	80 国際関係学 国際開発学	学士(国際関係学) 学士(国際開発学)
人間学群	教育学類	35 教育学	学士(教育学)
	心理学類	50 心理学	学士(心理学)
	障害科学類	35 障害科学	学士(障害科学) 学士(特別支援教育学) 学士(社会福祉学)
生命環境学群	生物学類	80 生物学	学士(理学)
	生物資源学類	120 生物資源科学	学士(生物資源学) 学士(農学)
	地球学類	50 地球環境学 地球進化学	学士(理学)
理工学群	数学類	40 数学	学士(理学)
	物理学類	60 物理学	学士(理学)
	化学類	50 化学	学士(理学)
	応用理工学類	120 応用物理 電子・量子工学 物性工学 物質・分子工学	学士(工学)
	工学システム学類	130 知的工学システム 機能工学システム 環境開発工学 エネルギー工学	学士(工学)
社会工学類	120 社会経済システム 経営工学 都市計画	学士(社会工学)	
情報学群	情報科学類	80 ソフトウェアサイエンス 情報システム 知能情報メディア	学士(情報科学) 学士(情報工学)
	情報メディア創成学類	50 情報メディア創成	学士(情報メディア科学)
	知識情報・図書館学類	100 知識科学 知識情報システム 情報経営・図書館	学士(図書館情報学)
医学群	医学類	95 医学 新医学	学士(医学)
	看護学類	70 看護学	学士(看護学)
	医療科学類	37 医療科学	学士(医療科学)
体育専門学群	240 健康・スポーツ教育 健康・スポーツマネジメント スポーツコーチング	学士(体育学)	
芸術専門学群	160 芸術学 美術 構成 デザイン	学士(芸術学)	
合計	2,062 ※73 ※5		

人文・文化学群は、基礎的な分野の教育を担う人文学類、学際的視点を重視した教育を行う比較文化学類、国際社会の中で日本語及び日本文化の発信を目指す日本語・日本文化学類という、各々独自の特色を有する3つの学類により構成します。

社会・国際学群は、社会科学分野の教育を担う社会学類と、社会科学を中心に、より発展的・応用的な学融合教育を担う国際総合学類により構成します。

人間学群は、現行の人間学類の3主専攻をそれぞれ教育学類、心理学類、障害科学類とし人間の発達や形成に関わる学問分野を対象とする学群とします。

生命環境学群は、「生命と環境」を共通キーワードとして、生物学類及び生物資源学類と、現行の自然学類地球科学主専攻を前身とする地球学類から構成します。

理工学群は、次の学類から構成します。  
・現行の自然学類の主専攻を前身とする数学類、物理学類、化学類  
・科学から技術への総合的理工融合教育を行う応用理工学類(現工学基礎学類)  
・新しい工学教育の体系を築く工学システム学類  
・複雑な社会問題を科学的・工学的・政策的に分析する社会工学類

情報学群は、情報や知識に関する幅広い学問領域を統合した特色ある情報系の学群として、情報科学類(現情報学類)、新たに創設する情報メディア創成学類、図書館情報専門学群の教育内容を継承・発展させる知識情報・図書館学類から構成します。

医学群は、現行の医学専門学群の名称を改称するとともに、看護・医療科学類を改組して看護学類及び医療科学類とします。医学群については現行を維持します。

体育専門学群及び芸術専門学群は、名称編制とともに現行を維持します。

(参考) 現行の学群・学類の編制

- 第一学群
  - 人文学類
  - 社会学類
  - 自然学類
- 第二学群
  - 比較文化学類
  - 日本語・日本文化学類
  - 人間学類
  - 生物学類
  - 生物資源学類
- 第三学群
  - 社会工学類
  - 国際総合学類
  - 情報学類
  - 工学システム学類
  - 工学基礎学類
- 医学専門学群
  - 医学類
  - 看護・医療科学類
- 体育専門学群
- 芸術専門学群
  - 図書館情報専門学群

・平成18年度入学者までは、引き続き現行の学群・学類に所属します。  
 ・※を冠するものは、第3年度編入学定員です。なお、第3年度編入学については、平成20年度までは現行の学群・学類で学生受入を行います。  
 ・※を冠するものは、第2年度編入学定員です。なお、第2年度編入学については、平成19年度までは現行の学群・学類で学生受入を行います。

## 大学説明会のご案内及び学生募集要項等の請求方法

### 大学説明会

大学入学を志す方を対象に、筑波大学の教育・研究を正しく理解し、適切な進路を選択するための参考に資するため、本学の概要や各学群・学類の特色などを詳細に説明するとともに、学内諸施設等を紹介します。

- 実施日時：平成18年7月26日(水)～7月28日(金)
- 参加方法：申込時期や実施要領などの詳細については、5月下旬に発表します。
- 申込先：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学学務部入試課
- TEL：029-853-6007 FAX：029-853-6008

### 平成19年度学生募集要項等の請求方法

入学者選抜の詳細については、「入学者選抜に関する要項」や「学生募集要項」などで公表します。これらの書類の請求方法は次のとおりです。

- 請求方法：角型2号の返信用封筒に、届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、下記金額分の切手を貼付のうえ、請求先に郵送してください。
- 「入学案内」とセットでお送りします。(2部以上請求する場合は、事前に照会してください。)
- なお、本学あてに送付する封筒の表には、必ず請求する書類名を朱書きしてください。
- また、本学(本部棟2階アドミッションセンター窓口)に來学し、直接、請求・受領することもできます。(土・日曜日、祝休日に來学して受け取る場合には、事前に電話により問い合わせてください。)

書類名	公表時期	貼付切手額	請求先
入学者選抜に関する要項	平成18年7月下旬	390円	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学学務部入試課 ■ 電話：029-853-6007
学生募集要項 (推薦入学、個別学力検査等 (前期・後期日程))	平成18年9月下旬	580円	
アドミッションセンター (第1期)学生募集要項	平成18年6月下旬	390円	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学アドミッションセンター ■ 電話：029-853-7386

### 筑波大学学群入学試験に関するお問い合わせ先

- 筑波大学学務部入試課
- 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
- 電話：029-853-6007 FAX：029-853-6008
- URL <http://www.tsukuba.ac.jp/nyushi/index.html>



# 筑波大学 情報学群 情報メディア創成学類

Department of Media Arts, Science and Technology, School of Informatics, University of Tsukuba

君だけのアドベンチャー…今、始まる。



## 情報メディア創成学類へようこそ

平成19年4月に新設される情報メディア創成学類は、ネットワーク情報社会の豊かな未来を拓くフロントランナーをめざす学類です。人間は伝えたい内容を表現して伝えることで社会、文化を創ってきましたが、ITの発達は、何かを表現し(すなわち「コンテンツ」を作り)伝えるメディアに大きなひろがりをもたらしました。現在、世界中のパソコンとネットワークでつながり、誰もが世界中の人に対して情報を発信できるようになりました。また、携帯電話からのインターネット接続サービスにより、いつでも、どこでもネットワークにつながるようになりました。

このようなネットワーク時代の社会は、コンテンツとそれを支える情報メディアの上につくられるといっても過言ではありません。コンテンツは、映画やアニメ、ゲームに限らず、様々な産業をはじめ、教育・文化・生活のあらゆる場面に現れます。情報メディア創成学類は、インターネット、コンテンツ、ネットワークメディアをキーワードに、コンテンツ制作からコンテンツを展開するためのメディア環境について学ぶために創設される新しい学類です。

例えば、VR(バーチャルリアリティ)技術によって、遠く離れた所にある古代遺跡の中を、あるいはそれを古代のままに復元した中を、あたかもその場において好きな方向へ歩いていけるように鑑賞できることは、「時と空間を越えるトラベル体験」という夢の実現と言えるかもしれません。情報メディア創成学類では、コンテンツ制作とネットワークメディアの基礎から最先端までを技術とサイエンスの両面から学び、技術の進展を見通し、それに対応できる能力、さらには技術の発展を担う人材となるのに必要な能力を習得します。また、コンテンツが扱う領域や分野、人間、社会のしくみやそれへの影響などについての深い理解、および優れたコンテンツを見抜き、創っていくための豊かな感性とアートのセンスも習得します。



## 授業科目の概要

1年次	2年次
フレッシュマンセミナー* 教養と科学* 第1外国語* 第2外国語† 総合科目* 体育*  コンピュータリテラシー* 同実習* プログラミングⅠ、Ⅱ* 同実習Ⅰ、Ⅱ* コンピュータシステムとOS*	解析Ⅰ、Ⅱ* 線形代数Ⅰ、Ⅱ* 情報数学Ⅰ*  情報メディア概論* コンテンツ表現演習* コンテンツ応用論*† 情報社会と法制度  科学技術史・発想法† 文章表現† 生物と情報†
3・4年次	2年次
オートマトンと形式言語 プログラム言語論 マークアップ言語 データベースシステムⅠ データベースシステムⅡ 情報サービスシステム 通信ネットワーク 情報通信プラットフォーム論 情報メディア機器Ⅱ 情報デバイス インタラクティブCG	エンターテインメントコンピューティング演習 デジタルコンテンツ表現実習 デジタルドキュメント ストーリー構成 映像表現論 映像表現論実習  先端技術とメディア表現 イメージ・空間メディア 実環境メディア 実世界指向システム



\*：必修科目  
 †：1ないし2年次で履修  
 ・体育、総合科目は1・2年次にわたって履修  
 ・情報メディア実験は3年次、卒業研究は4年次

## 入学試験の概要

### 一般入試(前期)：募集人員30名(2月、センター試験1月)

全般的な基礎学力に加え、情報メディア科学と処理技術を理解するために必要とされる数学ならびに英語の学習内容の理解度を評価します。  
 特に、数学的思考能力とその応用力を重視して選抜します。

### 一般入試(後期)：募集人員8名(3月、センター試験1月)

全般的な基礎学力に加え、情報メディア科学と処理技術を理解するために必要とされる数学ならびに英語に関し、論理的な思考能力、分析力、論述能力を重視して選抜します。

### 推薦入試：募集人員8名(11月)

高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取り組みとともに、情報メディア科学と処理技術に対する学習意欲や目的意識を、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力等の総合的評価によって選抜します。

### アドミッションセンター(AC)入試：募集人員4名

情報メディア科学と処理技術、特にコンテンツやネットワークメディアに関し、主体的な判断と分析のもとに問題を発見し解決する能力、創造的に取り組む姿勢、積極性、行動力、プレゼンテーション能力等を評価して選抜します。



## 筑波大学情報メディア創成学類 春日キャンパスへのアクセス

### 電車の場合

秋葉原から「つくばエクスプレス」で「つくば駅」まで約45分、そこから徒歩約10分。

### 高速バスの場合

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター行き」利用、約70分で「つくばセンター」到着。そこから徒歩約10分。

### 車の場合

常磐自動車道「桜・土浦IC」で降り、東大通りを約5.2km北上、北大通りを左折後2つ目の信号左折。



[問い合わせ先とWebページ]

筑波大学情報メディア創成学類準備支援室 〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 TEL: 029-859-1110 E-MAIL mast-info@slis.tsukuba.ac.jp Webページ <http://www.mast.tsukuba.ac.jp/>



高校生、編入学を考えている高等専門学校生、  
進路指導教員、および関心のある方へ

# 春の進学説明会・模擬講義

University of Tsukuba Spring Open Colleges 2006

- 3月27日(月) 社会工学類, 生物学類, 物理学類, 化学類
- 3月28日(火) 看護学類, 医療科学類(看護・医療科学類)
- 3月29日(水) 情報学群(情報学類, 図書館情報専門学群)  
情報科学類, 情報メディア創成学類  
知識情報・図書館学類
- 3月30日(木) 国際総合学類(情報・環境工学分野)  
工学システム学類  
応用理工学類(工学基礎学類)  
数学類, 地球学類

◆ 詳しいプログラムについては裏面をご覧ください ◆

## 2006年3月27日~30日

於 筑波大学東京キャンパス大塚地区 G棟 G501号室



- 交通案内 東京メトロ丸の内線「茗荷谷(みょうがだに)」駅徒歩3分  
(正面玄関から入り、廊下を約80m直進して下さい。  
看板にしたがって2階分上がると会場です。)
- 参加申込 参加申し込みは下記申込ページで受け付けております。  
なるべく3月16日までにお申し込み下さい。下記申し込み  
ページが表示されないときは、再度アクセスして下さい。  
(<http://www.iplab.cs.tsukuba.ac.jp/spring-opencolleges/>)
- お問い合わせ 筑波大学 アドミッションセンター  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
Tel. 029-853-7385, 029-853-7386 Fax. 029-853-7392  
E-mail: [admission@pslab.esys.tsukuba.ac.jp](mailto:admission@pslab.esys.tsukuba.ac.jp)



3月27日(月)  
社会工学類

- 10:00 学類長による全体の概要説明  
吉田雅敏 教授
- 10:30 ミニ講義「経済を、分析する!？」  
原田信行 講師  
経済を研究、あるいは分析するとは、具体的には何をどうすることなのでしょう。株価などの代表的な経済データを使って経済モデルの構築を実演し、経済の分析過程の一端をリアルタイムでお見せします。
- 11:00 ミニ講義「情報システムで経営を変える」  
佐藤 亮 教授  
経営の仕組みを分析し作り上げて行く立場の経営工学は、どのようにして経営という「現象」をとらえるのか。さらに、現代の情報システムがどのように経営や生活を変えようとしているのか。経営工学の紹介もします。
- 11:30 ミニ講義「まちをつくる、ということ」  
藤井さやか 講師  
都市計画とは何か? つくばエクスプレスの開発、美しい街並みの保存、ごみ問題など、身近な環境・都市にかかわる問題を例に、都市計画の魅力を紹介します。また都市計画専攻のカリキュラムについても説明します。
- 12:00 在学生による受験、大学生活体験談等  
質疑応答

生物学類

- 13:30 佐藤 忍 生物学類長による挨拶  
ならびに学類紹介ビデオの上映
- 14:00 生物学類の授業風景 ~その1
- 14:20 生物学類の授業風景 ~その2
- 14:40 生物学類卒業研究の紹介
- 15:10 在学生による受験  
大学生活・サークル、留学生体験の紹介
- 15:40 生物学類への何でも質問コーナー

物理学類

- 12:00 - 15:00 随時質問を受け付けます。  
担当: 矢花一浩 教授

化学類

- 12:00 - 15:00 随時質問を受け付けます。  
担当: 西村賢宣 助教授

A  
C

- アドミッションセンター  
10:00 - 16:00 すべての学群・学類についての質問を受け付けます。担当: 白川友紀 教授

3月28日(火)  
看護学類  
(看護・医療科学類  
看護学専攻)

- 10:00 紙屋克子 看護・医療科学類長 挨拶
- 10:05 看護学類の説明
- 10:30 ミニ講義「看護研究最前線 -つくばから世界に発信する意識障害の看護-」  
紙屋克子 教授  
長期意識障害に対する治療と看護の方法は国際的にも確立していません。近年、医学的に回復困難と診断された患者さんに対して、残された能力に相応しい刺激を与え、生活を再構築するという方法で回復する例が見られるようになりました。看護の専門性と研究成果について具体的に紹介します。
- 11:10 ミニ講義II「自然治癒力を引き出す看護 -笑いの生理的効果-」  
林 啓子 助教授  
人はなぜ笑うのだろうか? 笑いには心身を正常な状態にリセットする働きがあることがわかってきました。このメカニズムを説明し、もっと上手に笑うための「笑い筋トレ」をご紹介します。
- 11:40 質疑応答

医療科学類  
(看護・医療科学類  
医療科学専攻)

- 13:30 医療科学類とは?  
東野英利子 助教授、浦山 修 教授
- 14:00 ミニ講義「道具・モノが語る医療の進歩」  
浦山 修 教授  
医療に係わる科学・技術の発展に寄与した道具(装置)やモノに焦点をあて、生命科学の世界を概観します。
- 15:00 ミニ講義II「新興・再興感染症ってなあに?」  
太田敏子 教授  
世間を騒がす鳥インフルエンザや SARS、O-157 はどこから来るのでしょうか。その発生や目に見えない恐ろしさについて解説します。
- 15:45 医療科学類の将来像 太田敏子 教授

A  
C

- アドミッションセンター  
10:00 - 16:00 すべての学群・学類についての質問を受け付けます。担当: 島田康行 助教授

3月29日(水)  
情報学群

(情報学類、図書館情報専門学群)、情報科学類  
情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類

- 13:00 情報学群の紹介  
磯谷順一 教授、田中二郎 教授
- 13:40 情報科学類(情報学類 編入学)の紹介  
北川博之 教授
- 14:00 質疑応答
- 14:10 ミニ講義「暗号プロトコルのお話」  
溝保雅浩 助教授  
情報セキュリティの核となる暗号技術、単なる隠すためだけの技術かと思えば、そうでもない。安全な情報社会の構築に寄与する暗号技術の潜在能力、ほんの少し、覗いてみよう。
- 14:50 情報メディア創成学類の紹介  
磯谷順一 教授
- 14:55 学類の説明
- 15:15 ミニ講義「アニメ・CGのための画像圧縮エンジン創成物語-筑波大発の技術、ゲームソフトからパチンコまで-」  
徳永隆治 助教授
- 15:40 質疑応答
- 16:00 知識情報・図書館学類(図書館情報専門学群 編入学)の紹介 石井啓豊 教授

3月30日(木)  
国際総合学類

- (国際開発学専攻、情報・環境工学分野)
- 10:00 国際総合学類の概要、情報・環境工学分野の編入学に関する説明 学類長 北脇信彦 教授
- 10:30 情報工学分野の研究と教育について
- 10:50 環境工学分野の研究と教育について
- 11:10 在学生による研究活動(卒業論文・独立論文)および学類の紹介
- 11:30 質疑応答
- (※ 1年からの入学と編入学の両方について説明しますが、主として国際開発学専攻 情報・環境工学分野について説明します)

工学システム学類

- 12:30 学類長による全体の概要説明
- 13:00 ミニ講義「パルスデトネーションロケットエンジン」  
笠原次郎 講師  
極超音速で伝播する(1秒間に2-3 km で伝わる)燃焼波 = デトネーション波を用いると、単純構造のジェットエンジンやロケットエンジンが実現可能となります。この講義では、ジェット推進の原理を簡単に講義し、その後パルスデトネーションロケットの推力試験の様子を紹介します。
- 13:25 ミニ講義「ロボット工学という学問」  
相山康道 助教授  
今やロボコン(ロボットコンテスト)、おもちゃなどで、ロボットはとても身近なものとなっています。これを「学問」として大学で学ぶためには、数学、物理学、機械工学、電子工学、情報工学など様々な分野が密接に関連してきます。これらの関係を、事例に沿って紹介します。

応用理工学類(工学基礎学類)

- 13:50 学生による生活紹介  
(工学システム学類3年 永田あや)
- 14:10 質疑応答(学類長、学生)
- 15:00 学類長による全体の概要説明  
喜多英治 教授
- 15:25 ミニ講義「生体に学ぶ最新光技術」  
伊藤雅英 助教授  
生物は長い年月をかけて光を上手に操るようにならなっています。蝶や玉虫の羽は「光の結晶」とよばれるテクノロジーに匹敵するものです。最新の光を利用した計測・制御技術を生体機能と比べて紹介します。
- 15:55 ミニ講義「光を放つ電子を操縦しよう」  
末益 崇 助教授  
半導体は、その中を流れる電子の働きにより、トランジスタに代表される電子機器としてだけでなく、赤外線から紫外線までの光を放つ発光材料としても機能します。どのような仕組みで光るのか、また、どのような所で使われているのか、簡単に紹介します。
- 16:25 学生、大学院生による生活紹介
- 16:45 質疑応答(学類長、学生)

数学類

- 12:00 - 15:00 随時質問を受け付けます。  
担当: 南 就将 助教授

地球学類

- 12:00 - 15:00 随時質問を受け付けます。  
担当: 村山祐司 教授